

時期	1年C巡	単元	実習	教科名	1C_1年点検1	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	自動車整備士三級（総合） 実習ノート		発行日	2025.4.1
総時限	24時限		法令教本		教科担当	
必要時限	24時限	JAMCAコンプライアンスの実践知識				

指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として、自動車の定期点検の経験ある教員により定期点検基準に則った指導をする。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①自家用乗用自動車の法定1年点検が出来る。
- ②点検整備記録簿の記載事項、作成が出来る。
- ③点検時の付帯作業としてブレーキパット、ブレーキライニングの交換ができる。
- ④ESMを用いて部品の取り付け手順を調べることが出来る。

授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①自家用乗用自動車の法定1年点検の項目を正確に点検することが出来る。
- ②点検結果に基づいて点検整備記録簿の記載事項、作成が出来る。
- ③点検時の付帯作業としてブレーキパット、ブレーキライニングの交換が決められた時間内に正確にできる。
- ④ESMを用いて部品の取り付け手順を調べることが出来る。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 筆記試験100点にて評価する。
整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 - ①1年点検の各部位の点検と記録簿記入
 - ②ブレーキパット（トルクレンチを用いる）、ライニングの交換作業
 - ③ESMで指定された部品の構成図を調べる。

準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。
シャシ2/3の実習ノートを基にブレーキの着脱作業及び点検、調整を確認し復習する。

時期	1年C巡	単元	学科	教科名	1C_1年点検 1	
授業概要 (時限ごとの主な授業内容)					教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	コンプライアンス	法令遵守、関係する法律、道路運送車両法、整備士資格			三級自動車整備士 (総合)	各自
					実習ノート	各自
2	コンプライアンス	特定整備、認証・指定工場、法定点検、継続検査			作業台大 (黒)	10
					パーツスタンド (オレンジ) 1	10
3	導入	実習導入、概要説明。安全作業説明。法定一年点検説明			TONEパーツスタンド (赤)	10
					ESM用PC	10
4	点検作業	点検項目の説明と記録記入 (エンジンルーム点検)			AA0デイズ	10
					コードリール	5
5	点検作業	点検項目の説明と記録簿記入 (室内点検)			インパクトレンチ	10
					ホイールナット用 ディープソケットレンチ (21mm)	10
6	点検作業	点検項目の説明と記録簿記入 (足回り点検) タイヤ残、ブレーキ残含			1年点検記録簿	
					クロスリムレンチ	10
7	ESM使い方	ESMの使い方			トルクレンチ (140Nm)	10
					トルクレンチ (46Nm)	10
8	整備作業習熟	ブレーキ周りの整備習熟			S字フック	20
					ブレーキグリス	
9	整備作業習熟	ブレーキ周りの整備習熟			ベルト張力計	10
					フェンダカバー	20
10	整備作業習熟	ブレーキ周りの整備習熟			フロントグリルカバー	10
					ハンドルカバー	10
11	実技試験	実技試験			シートカバー	10
					マットカバー	10
12	実技試験	実技試験			排気ホース	10
13	点検作業	点検項目の説明と記録簿記入 (下回り点検)				
14	点検作業	点検項目の説明と記録簿記入 (外回り点検、日常点検)				
15	点検作業習熟	一年点検の実施 ESM、FASTの習熟 1。				
16	点検作業習熟	一年点検の実施 ESM、FASTの習熟 2。				
17	点検作業習熟	一年点検の実施 ESM、FASTの習熟 3。				
18	点検作業習熟	一年点検の実施 ESM、FASTの習熟 4。				
19	点検作業習熟	一年点検の実施 ESM、FASTの習熟 5。				
20	点検作業習熟	一年点検の実施 ESM、FASTの習熟 6。				
21	実技試験	実技試験				
22	実技試験	実技試験				
23	実技試験	実技試験				
24	筆記試験	筆記試験				